良い音で楽しみたい

スピーカーの背後への設置で、ソースに忠実で空間定位のよい再生音

スピーカーの背後に設置すれば、『ACP-2』のもつ平坦な吸音特性と散乱性能により、
リスニングに必要な響きを残しつつ、強い一次反射音を抑制することができます。
それにより、音源ソースに含まれる情報をそのままリスナーに届ける効果が生まれ、
引き締まった中低音と、空間的な音像定位の良い再生音が得られるようになります。

主な仕様

商品名	調音パネル		
品番	ACP-2		TCH／TCH-501B02N
色	ホワイト（WH）	ブラウン（MB） ナチュラル（MN）	ホワイト／ライトグレー
サイズ	幅587×高さ1,200×奥行き29（mm）	幅587×高さ1,200×奥行き30（mm）	幅600×高さ900×奥行き28（mm）
素材	MDF（表面材基材）、オレフィンシート（化粧材）、合板（芯材）	MDF（表面材基材）、リアルウッド（表面化粧材）、PVCシート（化粧材）、合板（芯材）	MDF（表面材基材）、オレフィンシート（表面化粧材）、合板（芯材）
本体重量	5.2kg	5.7kg	4.3kg
制御周波数	80～4,000Hz		125～4,000Hz
付属品	壁掛金具、自立スタンド、固定L金具		取り付け金具キット（壁掛け金具のみ付属）
メーカー希望小売価格	¥47,250-（税込）	¥63,000-（税込）	￥31,500-（税込）

F☆☆☆☆　住宅部分表示ガイドラインによる
ホルムアルデヒド発散等級表示

構成材料	ホルムアルデヒド発散区分
MDF	F☆☆☆☆
合板	F☆☆☆☆
接着剤	F☆☆☆☆

設置枚数の目安

アップライトピアノ	背面に2枚
ステレオスピーカー	背後に各1枚

グランドピアノの下への設置も効果的です。

- 価格には運搬費、設置費等は含まれません。
- ヤマハ調音パネルACP-2は、ヤマハ特約楽器店並びに、オーディオ専門店等で販売しています。品番が楽器店ではACP-2A、オーディオ専門店ではACP-2Nと異なりますが、製品は同一です。
- ACP-2のホワイトとTCHのホワイトは色調が異なります。
- 別売でTCH用スタンド［品番：OCH-ST1A/N ¥5,775（税込）］をご用意しています。

ヤマハ 調音パネルについてのお問い合わせは、もよりのヤマハ特約楽器店／オーディオ専門店、または下記ヤマハ窓口へどうぞ。

○ヤマハ調音パネルお客様相談窓口 ナビダイヤル： **0570-055-808** 月～金 9:00～12:00、13:00～17:00（祝日および弊社規定休日を除く）
○ホームページ： **http://jp.yamaha.com/products/soundproofing/acoustic_conditioning_panels/**

●本カタログに記載の商品の価格はすべてメーカー希望小売価格で税込金額を表示しています。 ●カタログの写真はイメージです。色・形状が実物と異なる場合があります。
●仕様は予告なく変更することがあります。 ●ご購入時には取扱説明書を必ず受け取り、ご使用になる前によくお読みください。

VEGETABLE OIL INK　このカタログは無塩素漂白（ECF）パルプを使用し、植物油インキで印刷しています。

YAMAHA
感動を・ともに・創る
ヤマハ株式会社
サウンドネットワーク事業部
防音事業推進室
〒430-8650 浜松市中区中沢町10-1
TEL.053-460-2605
2012年4月作成　カタログコード：-QC596

YAMAHA

ヤマハの音場コントロール技術
調音パネル
ACP-2

わずか3cmの薄さで「響き」をスマートに整える

良い音を楽しみたい

ピアノの近くに設置すれば、表現力がより豊かに

アップライトピアノの背面に設置するだけで、響きを整え、ピアノ本来の音を取り戻し、
演奏者の意図を反映する繊細な演奏表現が可能になります。
速いテンポでも一音一音をしっかり聞き取ることが可能になり、
和音が美しく響き、ピアニシモなども表現力がより豊かになります。
グランドピアノでは、ピアノの周りの壁面や下の床に設置することで、
同様の効果が実現できます。

薄さ3cmのヤマハ調音パネルは
楽器、オーディオの「響き」を整え、
良い音を楽しむ環境をつくります

ヤマハ調音パネルは
楽器の周辺やスピーカーの背後、
あるいは壁などに設置するだけで
「響き」の量と周波数バランスを整え、
より良い音を楽しむ環境をつくり上げます。
それにより、楽器が備える本来の音色や、
オーディオソースが持つ情報をあますことなく
引き出すことができます。

優れた設置性で、コーディネートもお楽しみいただけます

- 高さ120cmで、ピアノやトールボーイ型スピーカーとの組み合わせが容易です。
- 3cmの薄さで、小空間でも部屋の広さを損なうことなく設置が可能です。
- カラーはホワイト、リアルウッド仕上げのブラウン、ナチュラルの3色で、お部屋の雰囲気や楽器・機器に合わせたコーディネートをお楽しみいただけます。
- 設置方法は3通り（①付属の自立スタンドを使用した自立型、②壁付け、③壁掛け）からお選びいただけます。

● ホワイト（WH）／自立型（付属の自立スタンド使用）

● ブラウン（MB）／壁付け

● ナチュラル（MN）／壁掛け

※すべてのカラーで付属品を使用した3通りの設置が可能ですが、壁付けや壁掛け設置では壁材や構造の違いにより本体の固定が困難な場合があります。壁固定の際は専門業者へご相談ください。
※本体に壁固定用のネジは付属しておりません。

ヤマハ調音パネルは室内空間のさまざまな音響障害を低減します

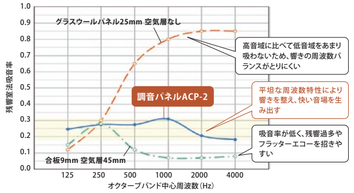
残響過多
響きが多すぎて、言葉や音がはっきりと聞こえません。

響きの周波数バランスが悪い
低音域はモコモコと、高音域はツヤのない音に聞こえます。

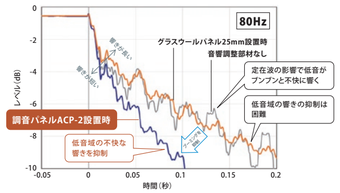
フラッターエコー
手をたたくと「ビィ〜ン」と不快な響きが残ります。

ブーミング
低音が「ブンブン」と尾を引くように不快に響きます。

● ヤマハ調音パネル『ACP-2』の吸音特性

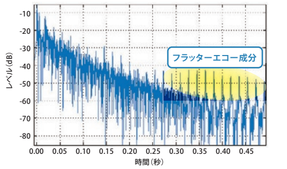


● 残響減衰特性に見る ブーミングの抑制効果の観測例

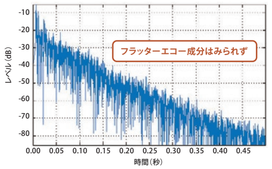


● フラッターエコーを抑制する効果

● 調音パネルなし



● 調音パネルACP-2あり



ヤマハ調音パネルの構造と特長

● 広い帯域での「吸音」と「散乱」

ヤマハ調音パネルの基本要素は「音響共鳴管」と「竪い反射面」です。1本の管の片面の一部に開口部を設け、上下に長短2本の共鳴管を作り出すと、2つの周波数で共鳴する音響共鳴管ができます。これをパネル状に連結すると、開口部回りに竪い反射面が構成されます。

この独自の構造により、入射する音に対して、「開口部」から放射される音と「竪いパネル面」から反射される音が相まってほど良い散乱効果を生み、同時に「開口部」での音のエネルギー消費による吸音効果も得られます。

つまり、1枚のパネルで「吸音」と「散乱」作用をバランスよく両立させることを可能にしました。音響共鳴管を適切な長さで組み合わせるなど、低音から高音にわたる領域で性能を確保するためのさまざまな工夫を施しています。